

シリーズ 2、コロナ禍でEPA新規受け入れに混乱！

来日直後集中研修がない場合は、言語能力低下か？！

- ※ 今年も今月で終わりとなり、この一年間EPA関係者には、多難な年であった。特に、来年早々行われる介護・看護国家試験のための対策教育が混乱を極め、従来通りの合格率を見込める可能性が低いと予測される。
- ※ このことは、受け入れ機関の人材育成計画に多大な影響を与える。さらに、これだけではなく、新規EPA受け入れ計画も、入国制限のために挫折してしまった。

- ※ 仮に新規受け入れができたとしても、入国者の日本語能力は、十分な教育がなされていないために、従来よりも低い能力で入職することとなる。
- ※ その理由は、来日直後の集中研修がなく入職するためだ。因みに今まで、集中研修の時間はベトナム人は、約 430 時間以上、インドネシア・フィリピン人は、約 860 時間以上が実施されていた。

I、【言語能力のない受験者の問題点は何か？】

- 表1は、入職直後の受験者の言語能力を弊社の「10分間テスト」で表したものだ。これによると、言語能力として評価すべきものは、「正誤あり瞬時反応能力」で、この項目の傾向は、3年間平均18.6%にしか過ぎない。即ち、この数値は、日本人の3~4歳レベルの言語能力と言わざるを得ない。
- なぜこのような結果なのかを考える必要がある。まず、母国での日本語教育の質が問われるべきだ。インドネシア・フィリピン人は、約 800~1,000 時間以上で、ベトナム人は約 1,700 時間以上だ。これほどの学習時間量を行っていても、決して日本人の小学生レベルの言語能力に到達できていないことは、母国の教育の在り方に大きな問題があることを表している。さらには、現地で指導する日本語教師の資質の低さが如実に表れている。
- その上、来日直後の集中研修時間を加えると、ベトナム人は約 2,130 時間以上、インドネシア・フィリピン人は約 1,660 ~1,860 時間以上に達する。即ち、学習時間量と言語能力が比例していないことが、この学習時間量を見ることによって明らかとなった。つまり、「学習時間量を多くすればするほど、言語能力が高まるわけではない」ということだ。
- 但し、学習時間量が多いことにより、言語能力の中でも特徴的に伸びる技能がある。それが「語彙数」だ。しかし、語彙数だけでなくあっても、意思疎通に必要な「構文能力」がない限り、ワンワードの会話になり、言語能力全体の技能が高まるわけではない。この点が重要な問題点となる。

表1、【入職時受験者の平均言語能力】

言語技能	2020 年	2019 年	2018 年
正誤なし瞬時反応	56.6 (%)	82.5 (%)	81.2 (%)
正誤あり瞬時反応	13.3	27.5	15
構文能力	16.6	37.5	22.5
助詞能力	20	47.5	25
文意能力	13.3	27.5	18.7
読解能力	13.3	30	17.5
情景読解能力	0	5	2.5

- ※ 入職時の「10分間テスト」結果に依る。
- ※ 「正誤なし」は、解答に関係なく解いている場合で、「正誤あり」は、正しい解答を解答したもの。
- ※ 「情景読解能力」は、絵で表した情景を読み取り、問題に答える能力。

- 特に三か国の中でベトナム人がこの特徴を表している。その結果、対応する日本人は、「ベトナム人は、よく日本語ができる」と錯覚する大きな要因となっている。しかし、決してベトナム人が「構文力」が高く、「文意力」が高いとは言えない。なぜならば、「助詞の意義」が理解できていないからだ。

II、【コロナ禍でのオンライン教育で、合格率が上がるか？！】

- ※ オンライン教育と対面教育では、「日本人は圧倒的に対面の方が教育効果が高い」と考えている人が多い。しかし、従来の対面教育を中心としたEPA受験者の合格率は、例年50%以下であった。この結果を見ると、必ずしも対面教育が有効とは言えない。

- ※ 10年前からオンライン教育を行っている弊社の【到達度試験】参加者の合格率は、例年80%以上であることを考えると、オンライン教育の効果は、一般的な対面教育よりはるかに高い。そこで表2は、オンライン教育の種類を表しているの、教育効果が高いものを選択すべきだ。【月報】94号参照

表2	間接式授業形態の種類	授業理解度の特徴
1、	Eラーニング	一方的な情報提供。(聞くだけ・見るだけの学習)
2、	オンラインワンウェイ	一方的な説明指導。(受け身の授業形態)
3、	オンライン双方向	三種類に分けられる。教師の熟練度合により、差が生じる。
三種 類	A、教師発声 70~80%	受験者反応 20%~30%のために、一方的な説明指導になりがち。
	B、教師発声 40~50%	受験者反応 60~80%のために、受動的な姿勢が大きい。
	C、教師発声 20%	受験者反応 80%のために、能動的な姿勢で理解度が高まる。

Ⅲ、【 例年受け入れの場合と、コロナ禍での受け入れの違い！ 】

- 母国の教育効果が有る無しは別としても、Iで述べたような時間数を考えれば、表1にあるように、「語彙数だけでも日本人の3~4歳児レベルには到達できる」はずだ。

表3を解析すると、以下のような問題点が浮き出る。

表3、【教育実施の比較表】

	例年	コロナ禍
母国での教育	○	△（自宅学習の為）
来日直後の集中研修	○	× 集合教育無し

- 1、 コロナ禍では母国の教育は、集合型ではなく自宅学習を中心とした教育になっているようだ。その結果、受験者には【自学能力】がないために、自宅学習のあり方は、「母語との対訳型の学習方法中心」とならざるを得ない。即ち例年と違い、日本語を母語で学習する形となる。この学習方法は、全て「暗記力の良し悪しで言語能力が決定」される。これが大きな問題点だ。
- 2、 例年行われていた来日直後の集中研修がないために、対訳の癖が身についた受験者の受け入れとなり、母語から離れた「日本語を日本語で学ぶ」の学習姿勢が皆無だ。
- 3、 コロナ禍での受け入れは、今までとは大きく異なり、入職後の教育指導に多大な影響を与える。
第一に、国内では基礎教育を行える日本語教師の絶対的な不足が挙げられる。即ち、実践的な教育指導法を身につけた教師が、絶対的に不足しているためだ。
- 4、 第二に、対応する教師が受験者の母国語を理解できないために、「日本語を日本語だけで教える教育」ができず、基礎教育が成立しない。例年の母国教育では、「文法を同国人教師が、会話は日本人教師の教育形態」だった。上記の点を今後十分認識した上で、新規受け入れ者対応に活かし、人材育成の基本的な教育方針とすべきだ。

- 5、 母国での教育と来日直後の集中研修がないために、受験者間の日本語能力の差にバラツキが多く生じる。

即ち、母国では自宅学習が中心であるため、受験者の学習意欲、並びに日本語に対する理解力が異なり、その結果として、言語能力に大きな差が生じるためだ。

- 以上述べた通り、コロナ禍での受け入れの最も大きな課題は、「入職後の日本語教育のあり方と、教師の対応能力に例年とは決定的な差異が生じる」ことを十分認識しなければならない。よって、今後の新規受け入れの最大の課題は、「日本人の3歳児レベルに対する日本語教育指導力」を身につけた教師の確保が必要だ。
- 基礎言語能力がない受験者に対しては、現場での実務を行わせるために必要な「日本語による意思疎通能力」を養うだけで、約半年間必要だ。その間、実務ができず、単純労働力として使用することとなる。受け入れ機関は、このことを肝に銘じておかなければいけない。

Ⅳ、【 教育効果のない集中研修の必要性が問われる！！ 】

1、制度自体の見直しが必要！

- E P A受け入れ事業が開始されると同時に、来日直後の日本語集中研修が行われてきた。インドネシア・フィリピン人は8か月間（860時間以上）で、ベトナム人は3か月間（430時間以上）だ。受験者は研修後に受け入れ機関に配属されるが、入職時の日本語能力は表1で表した通り、非常に低いものであった。

表1の統計を見る限り、2018年から2020年までの言語能力は、年とともに悪くなっているのが一つの特徴だ。2018年以前の言語能力も決して高いものでない。

- 弊社には、受け入れ機関から数多くの声が届いている。それを以下に集約して紹介する。

- A、全然日本語が通じない。あるいは、ほとんど意思疎通ができない。
- B、言っていることが理解できない。意味不明な発言が多い。
- C、職員が言ったことに対して返事は良いが、行動しても全然違うことをする。
- D、意思疎通ができないので、通訳を頼んでいる。

最近では通訳機を使って意思疎通をしている。（等）

- 母国と集中研修で約2,000時間以上日本語学習をしているにも関わらず、「ほとんど満足な意思疎通ができない状態」は、E P A事業の日本語教育のあり方が問題とならざるを得ない。

2、集中研修費用負担をなくし、施設に還元する！

- 受け入れ機関は、事業団に集中研修費用を含めて多大な負担金を支払っている。負担金に見合うだけの人材が必ず入職するとは限らないのが実態だ。教育効果のない集中研修をなくし、その負担金を受け入れ機関に還元すれば、「自己責任で実態に合わせた教育」ができる。

また、集中研修期間を受け入れ機関で活用できれば、その間の時間量が、労働力不足の解消に充てられる。

- 今まで行われてきた集中研修の教育効果は、受け入れ機関の大半から「不十分だ・満足できない」とか、「集中研修の意味がない・全然教育しているとは思えない」等の声が余りにも多すぎる。

これは、国の方針、並びに事業団のあり方にも、大きな問題があることを表している。

- 現在のE P A受け入れ態勢は、受け入れ窓口が事業団一本であるために、独占状態にあることが問題だ。競争する受け入れ窓口の必要性を、強く要望する経営者や現場責任者達が全国に多数いることも事実だ。

- この状態を継続すればするほど、E P A受け入れに対して、受け入れ機関からの事業団に対する不信任が募り、今後の事業自体に多大な悪影響を及ぼす。コロナ禍を機会に是非、集中研修制度を廃止して、直接、受け入れ機関に入職させる方針をとるべきだ。

「10分間テスト」結果を見て、感じたこと！！

- 「10分間テスト」の結果を見た。想像通りの結果だった。話はある程度通じて、会話文にならない。さらに、日本語文は全然ダメなので、入職して9か月間経過しても、介護日誌はまだ書けない状態だ。
- 事業団の教材を使って学習している。事業団の漢字テストは4択形式で、漢字を書かせるテストではない。だから、記号を選ばばよいだけなので、逆にやさしいと思うし、本当に漢字が分かっているのか、信じられない。
「10分間テスト」は自分で文を作って解答しなければいけないので、難しいと感じただろう。通常業務は、日本語が不十分でも何とかこなしている。
- しかし、国家試験には合格させたいのだが、現状を考えると、とても合格できないと感じている。だから、その対策は今後考えないといけない。御社からの電話で話を聞いた通り、「合格できる日本語力まで高めない限り、合格はできない」ということはよく分かったのだから、まずは、ユーチューブを拝見して、また、考えます。（愛媛県・T施設）

今年は人材確保ができない！！

- ベトナム人は、昨年幸い一名確保できた。しかし、在籍中の一名の候補者が結婚のため、帰国してしまった。年頃の女性だったので、こればかりは仕方がないことだと思ったが、残念な気持ちでいっぱい。今年は、コロナ禍なので入職は一人も期待できない。
- E P Aは県をまたいでとれるような大きい法人もあるが、小さい法人は受け入れたくても受け入れられない施設が多くある。また、技能実習生もうちの法人が3名インドネシアをとると決まっていたのに、コロナ禍のために誰一人来ない。
- 受け入れのお金はかからないが、現地まで面接しに行き、手間暇かけた経費はかかっており、それは全て、バーになってしまった。技能実習生でさえ今は難しく、人材確保をどうしたら良いかを考えている。介護の技能実習生は他の業種よりも日本語研修の時間が長いので、その間で、待遇の良い所に心変わりをしてしまうケースが多い。これを止めないと、小さい施設はやっていけない。（広島県・F施設）

オンライン教育の後、受験者についてみた！！

- 専門学校の研修は全部、リモートでの学習になっている。通学よりも、受験者の負担も少なく、逆に良いかもしれない。今、ズームで行っているが、便利だなと感じている。
- しかし、授業内容を見ると、受験者は受け身で聞くばかりになってしまっていた。どうしても、一方向の授業になる傾向が強い。だから、受験者が質問したくても、なかなかできていないので、授業内容を十分理解できていないみたいだ。
- 授業を見ている限り、どうも教師がズームでの授業に不慣れなようで、上手く受験者の気持ちを汲み取れないでいる。うちの受験者の中で集中せずに、授業に関係のないことをしていたが、教師は何も指摘せずに、そのままにしていた。（神奈川県・H施設）

事業団が独占せずに、窓口機関を増やして！！

- うちの施設の近くの介護施設でもコロナ感染者が出た。通常でも人材不足なのに、コロナの影響で職員の負担もかかっているし、今年度で辞める職員も出てきている。
- E P A頼みの人材確保を考えていたけれど、今後は他の方法も考えないと、施設運営が厳しい。現在、事業団独占で受け入れを行っているが、他にも実施機関が増えれば、施設としても選択肢が広がるので、是非、国も考えてほしい。（埼玉県・S施設）

オンライン教育の成果が心配！！

- コロナ禍2波の時からオンライン教育に切り替えた。最近受験者に教育の感想を聞いた所、「先生が何を話したのかよく分からない」とか、「聞いた時は分かるが、すぐ忘れてしまう」とか、「質問があってもできないので、つまらない」と言っていた。これを聞いて、教育成果がちょっと心配になった。
- この状態で来年の国家試験に合格できるかが、とても心配だ。（千葉県・S施設）

★ YouTube（「ことばの研究社」）に、登録のお願い！！ ★

※ YouTubeでは、【月報】にない最新情報や、具体的な「日本語の教え方」や「E P A事業の関連情報」を提供しています。

その内容は例えば、「生の受験者・施設の声」や、「スカイプ授業内容」や、「言葉の違い」等を簡潔にまとめて、ご紹介しています。

※ ところで、あなたは同じような意味がある言葉の違いを外国人から、その使い分け方を質問されたら、どのように答えることができますか？考えてみると、困惑しますね！
このようなこともYouTubeで知ることができますので、役立ちますよ！！

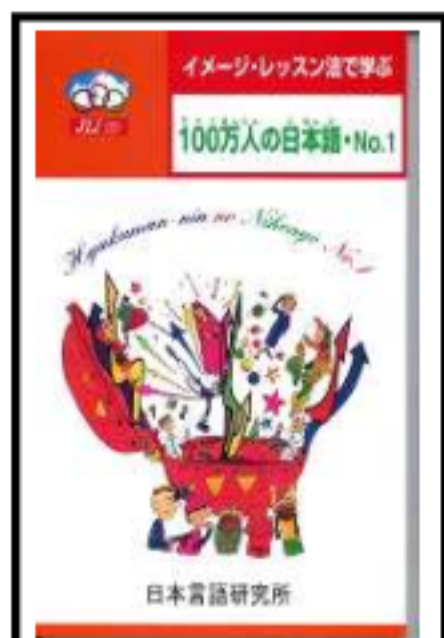
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

EPA学習支援
スカイプ・Zoomの無料会員登録
ことばの研究社
電話：086-486-1742
FAX：086-486-1744
岡山県倉敷市徳芳 841

学習支援 主教材

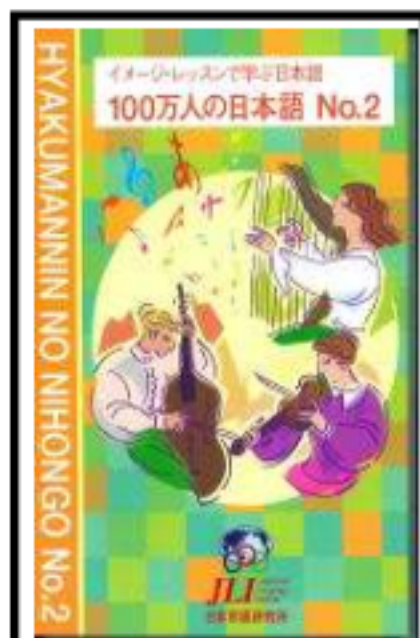
基礎言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を引いて調べることができます。(3,300 円)

※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！
教育効果の高さ
学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。
イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。
(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。
(1,980 円)

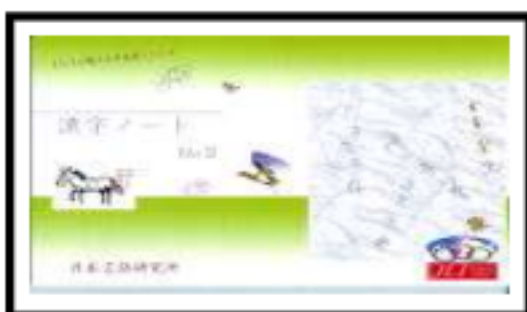


『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。
非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその言出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。
(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。
漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。
非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきと (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※ ※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一 年 目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二 年 目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三 年 目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

< おまかせコース >

【一年目 到達度試験(初回~Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E~国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2,3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

- 【指導内容】
- ① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導
 - ② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導
 - ③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

★基礎言語能力の育成

- ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。
- ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。
- ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。
- ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。

●日本語能力を養う

- ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。
- ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。
- ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。
- ④簡単な業務日誌が書ける。
- ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。

★生活言語能力の育成

- ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。
- ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。
- ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。
- ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。

●国家試験受験能力を養う

- ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。
- ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。
- ③自学で「過去問」を解ける。
- ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。

★職域言語能力の育成

- ①業務の実践力を養う。
- ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。
- ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。
- ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。
- ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。

●国家試験合格能力を養う

- ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。
- ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。
- ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。
- ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています。** また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職 域 言 語 能 力 を 養 う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生 活 言 語 能 力 を 養 う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基 礎 言 語 能 力 を 養 う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		